

下期分

報告対象事業(1事業)

事業名 (所在地)	進捗率 (H15.3)	事業を巡る 社会経済情勢の変化	事業休止・中止に対する 影響
事業概要	現段階の 整備効果		
<p>(河川) 住吉川 (泉佐野市・熊取町)</p> <p>[目的] 住吉川については、流域内熊取駅前整備事業等の開発があるため、洪水による被害を防止し豊かな生活環境を築くため河川改修を進める。</p> <p>[内容] 改修延長 L = 約 1.1 km 道路橋 4 橋 JR 橋 1 橋 用地取得 A = 約 13,000 m²</p> <p>目標流量：100m³/s (100年確率 時間雨量 79.3 ミリ)</p> <p>[事業費] 全体事業費 約 22 億円 内用地費約 10 億円 内工事費約 12 億円</p> <p>投資事業費 約 14 億円 内用地費 約 6 億円 内工事費 約 8 億円</p>	<p>事業採択年度 S54 事業着手年度 S54 完了予定年度 21世紀初頭</p> <p>進捗状況 再評価時 用地 78% 工事 55% 整備済延長 0.6km</p> <p>現時点 用地 78% 工事 60% 整備済延長 0.6km</p> <p>H11 年度に河川すり付け部の工事完了後、進捗していない。</p>	<p>(計画時) 流域の大半が市街地地域であり、JR 阪和線の主要駅である熊取駅があるため、流域開発が著しく河川への流出量が増大している。</p> <p>一方河川は原始河川で極端に蛇行しており、溢水欠損が頻発していた。これに対処する為、熊取駅前土地区画整理事業とあわせて河川法線の修正と河積の拡大を図る。</p>	<p>(地域への影響) 地元住民や地元市町は、継続的整備を望んでいるが、下流佐野川の改修が急がれており、平成 12 年度から下流佐野川の蛇行・狭窄区間の整備に着手した状況である。こうした状況を踏まえ、上流住吉川の改修事業を一旦休止し、佐野川の改修が概成した後で再開する。</p>
	<p>熊取駅前土地区画整理事業区域及び最下流のショートカット部区間については概成し、当該区間の洪水被害の防止効果は発現されている。</p>	<p>(現時点) 一定の流域開発はなされたが、景気の低迷等により開発速度が鈍っている。</p> <p>熊取駅前土地区画整理事業が完成し、また住吉川下流部の蛇行箇所法線の修正がなされ、平成 11 年度に一定の整備が完了したことから、住吉川の治水安全度は大きく向上している。</p> <p>上流住吉川の流下能力が大きく向上したことから、下流佐野川の改修が急がれており、平成 12 年度から下流佐野川の蛇行・狭窄区間の整備に着手した状況である。</p>	<p>(他計画・関連事業への影響) 熊取駅前土地区画整理事業区間は改修が完了しているため、影響はない。</p>